

# I・YOU 淡海

発行者・NPO

男女共同参画を進める会・I YOU 淡海

## 《男女共同参画推進》宮本和宏 守山市長を訪ねて



宮本守山市長

男女が共にいきいき輝くまち もりやま (守山市のテーマ)

### Q) 女性のチャレンジ支援について お伺いします

A) 働きたい、活動したい女性のために次の事に取り組んでいます。

- ①待機児童の解消
- ②市民提案型まちづくり支援事業

自主的・自発的に取り組むまちづくり活動の支援。社会的、地域的課題の解決につながる事業への助成

- 例) ・食をテーマにした健康づくりを目的とした場づくり
- ・若者の感性を生かした町おこしでは、町中にベンチを設置し交流の場を提供
  - ・映画祭や音楽祭などの開催



### Q) 女性に一言お願いします。

A) 問題意識をもって感性を生かしながら、意見を自信をもって発言し提案されることを期待しています。各審議会などの参加は、現在 30.8%、目標は 40%です。ある有識者会議では半数が女性です。知的な明るさで活躍頂いています。

目標の 40%を超えるよう願っています。



### Q) 守山市の男女共同参画の取り組みについて お聞きします

A) 平成6年(1994年)「調和と均衡のとれた男女共同参画社会の実現を目指す守山市計画」を策定以降、各種施策を推進してきました。平成23年(2011年)3月には「第3次男女共同参画計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて事業を推進しています。

- ①実践講座や講演会の開催 子育て研修会等
- ②もりやま・男女のきずな輝きフォーラム開催
- ③女性の悩み相談(月2回) 臨床心理士による相談
- ④男女共同参画社会づくりの啓発4コママンガ作成
- ⑤男女共同参画地域啓発事業  
クイズの実施と啓発物品(4コママンガ入りポケットティッシュ、クリアファイル等)、啓発パネル展示により広く啓発
- ⑥国立女性教育会館交流会議における実践報告(平成23年3月)
- ⑦産休、育休明けの女性のための職場復帰支援事業の開催を考えています。

### Q) 女性委員の管理職への登用は如何ですか

A) 平成23年4月1日現在

全職員数	573人
うち女性	263人
比率	45.9%
管理職数	94人
うち女性	7人
比率	7.4%

※公立学校、幼稚園の教員は除く  
女性職員の管理職への登用については「仕事も家庭も」という二重負担を男女ともに担えるよう多様で且つ柔軟な働き方を選択できる環境を整えるとともに教育も必要であると考えています。





社会的弱者の「働く」を支援する  
株式会社 農環 代表取締役 那須信子さん

Q) 社会的弱者の就労支援をなぜ志されたのですか

A) 2000年6月、結婚4ヶ月目で夫を事故で失ったため母子家庭になり、苦しい状態で子育てをした経験を持ち、いわゆる社会的弱者の痛みを身をもって味わいました。

収入を得たい一心でハローワークを訪ねて(社団)滋賀県社会就労事業振興センターと出会いました。福祉行政とは違う視点から、障がいのある人の就労支援に汗を流すこの民間組織で働いた2年間の経験が那須の人生を変えました。



Q) 具体的にどんな事業を立ちあげられたのですか

A) 2003年に農環を設立。「誰もが共に働き、共に歩み、共に暮らせる地域社会を目差します」を企業理念とし、心身に障害があるなどのハンディキャップのため社会参加しにくい状況に置かれた人たちが、ごく当たり前のよう就労して経済的な自立が出来る地域社会を作りたい。そのための具体的な取り組みのひとつが古紙回収事業です。共同作業所とのネットワーク化を軸に据えた古紙回収の仕組みづくりを発案し、「自社と協業先が共に継続的に収益を得られる仕組み」を整えました。



“G-NET しが” フェスタ 2011

公開講演会 10月22日(土) 13:30~15:00  
男女共同参画センター大ホール

演題 **私は仕事も家庭も決してあきらめない**  
講師 株式会社東レ経営研究所  
特別顧問 佐々木常夫さん

講演内容

- ✓ 長男は自閉症
- ✓ 妻は肝硬変とうつ病で43回入院、3度自殺未遂
- ✓ 家事と仕事の両立

参加者の感想

1. 仕事の仕方は人生を生きる生き方と同じであると考えさせられた。
2. 仕事と家庭、両方を大事にしたいと思う。大変勇気づけられた。
3. 私生活の経験を通して生きる力を与えられた。運命を引き受ける覚悟が必要であることを教えられた。



『最後までハッピーライフ』

7月16日(土)・10月1日(土)男女共同参画センター

演題 **エンディングノートを書きませんか**  
講師 早野矢須男氏

受講して 中村きよ子さん

私は昨年義母と実弟の死亡を経験し、自らの最後や死後の扱い、それに至るまでの生き方について考えることが多くあった。誰にもひとしく訪れる死についてどのように迎えたいかだけでなく、それまでどのように生きるかという自分へのはげましとして記してみたいと思う。同時に残されたものへの思いやりとなるのではないかと考える。

大阪ガス見学 (8月26日金)

東日本の未曾有の大災害と原発事故の後、節電が叫ばれている今、私たちはガスとエネルギーを学ぶ為、吹田市の生活誕生館『ティパ』に行きました。ガスから電気がつくられることは驚きでした。太陽光発電と『エネファーム』等を組み合わせたダブル発電はまさに目からウロコでした未来を見据えた素敵な学習でした。

杉原恵美子さん





Q) 新たな支援事業に取り組まれていらっしゃるようですが



A) 2009年4月、障がいのある人、母子家庭の女性などの就労サポートを目的に、洋服のリフォーム・リメイク技術を教えるスクール「縫工房」を開設。国のひとり親家庭就労支援策が本格化した2010年、滋賀県ひとり親家庭等在宅就業支援事業を導入。現在約30名の方が就業に向けて訓練を受けています。又、技術を習得した人の就労の受け皿づくりとして、フォレオ大津一里山店・大津パルコ店に洋服のお直し専門店をオープンしました。

Q) 農環を立ちあげられて10年近くになりますが今の思いは？

A) 昨今、景気後退、雇用情勢の悪化、地域の福祉負担という“負の連鎖”が顕在しています。私たちのような企業が増え、安定して事業継続できれば地域社会も元気になるだろう。そんな意味で社会的弱者の雇用問題はコミュニティー全体の課題ではないだろうかと思えます。

農環は、障がいのある人もない人も一緒に働き、暮らす当たり前の社会の実現を目指すパイロット企業です。「障害のある人によし 事業に携わる人によし 社会によし」を目標に日々努力しています。皆様のご支援・ご協力をお願いします。



## トピックス マザーズジョブステーションのご案内

働きたいママや、キャリアアップしたいあなたを強くサポートする、女性のためのワンストップの窓口が男女共同参画センター内にオープンしました。土日、祝日も相談実施

**総合受付 (0748-36-1831)** 各窓口へのご案内、お気軽にお声をかけてください

**マザーズ就労支援相談** 就労に関するカウンセリング、研修、訓練などの紹介、子育て支援情報の提供

**ハローワークマザーズコーナー (0748-37-3882)** 10:00~16:00  
昼休憩 12:00~13:00 休所日・祝土日除く

**母子家庭等就業・自立支援センター (0748-37-5088)**

ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など、就業に関する相談や情報提供

託児室 無料、予約不要 対象年齢 6ヶ月以上  
就学前



# 「男女共同参画の視点で見る、看護師という職業」



東近江敬愛病院 看護部長 海江田周作

故郷鹿児島から滋賀に移り早20年、今は看護管理者として病院に勤務しています。女性中心の職業である看護職であります。今では男性看護師も増えています。しかしまだ全体の一割未満です。一昔前は精神科領域の限られた施設の時代もありました。また、女性は「看護婦」男性は「看護師」と名称が異なっており、助産婦も女性限定とされていました。平成13年に保助看法が改正され「看護師」と名称統一となり、性差による表現区別が無くなりました。専門職業人として同じ国家資格を持ちながら法律も区別していたわけです。男女共同参画の視点からみれば、おかしな事の1つであったと思います。

歴史的には看護職＝医師の補助者としての位置付が強く、支持、命令による封建的な組織の中で仕事をしてきた時代があり、今でも一部では根強く残っています。しかし今の医療現場では「チーム医療」の概念が浸透し、専門職業人の個々の能力を発揮できる医療環境に大きく変わってきました。さらにスキルの高い、認定看護師や専門看護師が育成され、実践現場で活躍し医療や看護の質向上に大きく貢献しています。このような事からも、私自身は性別で仕事の能力に有意差があることを意識することはなく、専門職のプロとしての能力発揮が大事だと感じています。

滋賀県には60の病院があり、以前より看護部長、看護師長など管理者として多くの方が活躍し大規模病院では副院長職の看護部長もおられ、病院経営にも参画されています。それだけ有能な看護師がリーダーシップを臨床現場で発揮し、病気で苦しむ患者の看護に日夜頑張っておられます。女性管理者の能力発揮無くして、今の病院運営は成り立たないと言っても過言ではありません。病院は女性が輝いて、いきいきしている職場の一つであると思います。また特殊な職場環境でもあり、国家資格を持つ専門職業集団の組織ですので、男女を超えた資格の方がじっくりいくのかもしれませんが。

WLB（ワークライフバランス）の考えは医療界ではかなり浸透し、具体的な取り組みを各施設でされています。当病院でも保育所の開設をはじめ、滋賀県のWLBモデル事業施設として取り組み、職場の風土改革を進めてきました。少子高齢化により医療環境も大きな転換期でもあり、人材確保も変わらず厳しい状況です。男女共同参画推進なくして、人材育成・確保はできないと考えています。そしてWLBに取り組む組織こそ、看護師が安心して働ける職場であると信じています。

**お知らせ**

**予 告**

新春のつどいにて

和服リフォームファッション  
ショー開催予定

★ファッションショー出場★  
★出展者募集します★

平成24年1月22日(日)  
(財) 婦人会館 和室



## I YOU 淡海 いつでもどなたでも ご入会いただけます

男性・女性が**家庭で**  
**地域で**  
**職場で**  
活躍するためには、**環境を整えることが大切です。課題の解決にみなさんのお力をお貸しください！**

- 1) 入会金 1,000円
- 2) 年会費 個人3,000円  
団体3,000円
- 3) 賛助会員(年) 一〇2,000円

## 編集後記

私たちはともに未来に向け誰もが安心して暮らせる魅力ある地域づくりに貢献し合えるよう、能力の育成と意識づくりを測り、男女共同参画社会の早期実現を目指しています。少しでも読み易いようにをめざしています。地域での男女共同参画の取り組みや本誌へのご意見などご投稿をお待ちしています。

〒523-0891

近江八幡市鷹飼町 80 - 4

県立男女共同参画センター内

Tel.0748-37-8615 Fax.0748-37-1331